

福島県における 親と子のストレス調査結果報告 (第三回調査)

福島大学 子どもの心のストレスアセスメントチーム

筒井雄二（共生システム理工学類）（代表）

高谷理恵子（人間発達文化学類）

富永美佐子（人間発達文化学類）

高原 円（共生システム理工学類）

概要

研究チームは震災直後から福島県内で生活する子ども(1歳6か月児から小学6年生まで)と保護者を対象に、心理的ストレスという観点から心の健康状態を継続的に調査している。

今回は、幼稚園児と小学生、および保護者を対象に、中通り(福島市)で実施した調査(1回目は2011年6-7月、2回目は2012年1月、今回は3回目)の結果を報告する。

ポイント

1. 保護者の放射能への不安、ストレス、子どもたちのストレスが、いま、どのような状態か。
2. 過去の調査データと比較し、不安やストレスが時間経過にともないどう変化したか？
3. 他県と比較し、福島の子どもと保護者のストレスはどうか？